

癒しの散歩道

「五月は旅にでかけよう」

谷川 萬太郎



爽やかな五月の風に乗って
 旅に出かけよう
 あなたと私と花たちと優しく微笑みながら
 碧い空に揺れる若葉と心が踊る
 新しい街へ
 五月はあなたの瞳のように眩しく輝く
 線路は続くどこまでも
 ラララララ♪♪

爽やかな五月の歌を歌いながら
 旅に出かけよう
 あなたと私と歌たちと楽しく過ごしましょう
 遠ざかる田畑や山並みに
 追い続けるひばり
 五月はあなたの瞳のように眩しく煌めく
 線路は続くどこまでも
 ラララララ♪♪



ならやま茶論 「悲痛と無情」

竹本 雅昭

雑草：ちょっと待ってよ、おっちゃん。
 翁：なんや、お前さんで最後や、暑いさ
 かい早よ言うて。
 雑草：私もやっどこまで大きくなったん
 やから見逃して〜な。
 翁：あきまへん、^{えこひいき}依怙最良はあかん。何
 言うてんねん、こゝは野菜専門でっ
 せ。
 雑草：抜かれたらポイですやろ。
 翁：そらそうやがな。あんな、あっちの
 田圃の側に鍬なんかの洗い場がある
 のん知ってるか。
 雑草：何ですのん急に。
 翁：まあお聞き。以前は泥落しのブラシ
 が地べたに置かれてたんやが、今は
 杭と横棒で造作されて等間隔に掛け
 られてるねん。それが使い良くてさ、
 えらく気分え〜ねん。
 雑草：その事と私の悲しい思いと何の関係
 ありますねん。

翁：お前さん察しが悪いな、こゝやっ
 たら競争相手もおらんし、肥料も横取
 りできるし、ノボーとしておれるか
 らな。
 雑草：えらい言われ方ですな。わざとこゝ
 へ根を張ったんと違いますよ。
 翁：分つとるわ、そんな事。言いたいの
 はな、野菜を作るにも整然とした畝
 で日当たりも良くてな、よう面倒見て
 やるこっちゃ。
 雑草：よく分かりました。邪魔者は消えろ
 でんな。
 翁：そないしょんぼりせんでも、大勢仲
 間のいる所へ連れてやるからさ、皆
 とよう話合って今後の事考えなは
 れ。

〜終〜

